

みなさん、本読んでますか？ 最近、図書館利用してますか？

11月、十条台キャンパスの各科代表が集まって、座談会を開きました。
意外な情報が見つかるかもしれません！

メンバー：司会 糸山昌己（言コミ科教員）／小野澤昇（幼教科科教員）
加藤陽太郎（幼教科）／小木曾生奈（子ども学科）／菅原麻未（専攻科）
杉山絵梨（言コミ科）／高橋友紀（ビジ心科）／千葉一登（子ども学科）
向井さくら（幼教科）／若松美由紀（言コミ科） 五十音順 敬称略

糸山 これから「私たちの図書館座談会」ということで始めたいと思います。忙しいところ、集まっていたいただいてありがとうございます。

小野澤 幼教科の小野澤です。よろしくお願いします。

最近読んだ本

糸山 早速ですが、最近読んだ本を皆さんにお聞きしたいと思います。今、私が読んでる本は、映画にもなった『ロード・オブ・ザ・リング』の原書です。その前には『ハリー・ポッター』の最新の原書を読みました。翻訳が出る前に読むという醍醐味がありますね。皆さんの中で何か「今読んでいる本」のある人はいますか？



千葉 ちょっと前まで実習に行っていて、その園長先生が薦めてくれた本ですが、子どもが「子どもの権利条約」を子どものためにわかりやすく書いた本があって、今それを電車の中で読んでいます。「子どもの権利条約」って条文なので難しいですが、それを翻訳コンクールで募集して一番わかりやすくて良かったものを本にしてあるんですけれども、すごく分かりやすく書いてあって、所々写真なども入っていて親しみやすい感じの本です。

糸山 「子どもの権利」というのはどういうものですか？

千葉 国際的に「子どもの権利」というものを決めていてそれを各国で守りましょうというものです。子どもは、大人に対しても自分の意見を発言してもいいんだよとか、人種によって差別されないんだ、とかということが子どもの持つ権利として示されています。

小木曾 私たちのクラスでは、ユニセフに見学に行ったとき、権利条約のパネルがあってそれを見たりもしました。

加藤 最近読み終わったんですけども、賞をとったこともある『ナイフ』という本を読んでいました。いじめの本なんですけど、4つの短編が入っていて、色々な視点からいじめについて書かれていて面白かったです。新着コーナーにあって、読んでみようと思ったんです。

糸山 新着コーナーは皆さんも見ますか？

菅原 一番目に付く通り道にあるので、「何があるのかな？」って、自然に見ています。

私は最近、『デコちゃん』という絵本を借りて、実際に子どもたちの前で読んだら皆喜んでくれました。お母さんに髪を切ってもらったら、おでこが丸見えになってしまって、その子は本当は「デコちゃん」なのに「デコちゃん」って皆に言われて、嫌だったのだけれども、お姉ちゃんに髪をパッチンで止めてもらって、おでこが好きになるというお話です。少し前までは、卒論で「父性」について調べていたので、その関係の本を読んでいました。

糸山 専門について調べたときに図書館の本の量はありましたか？助かりました？足りませんでしたか？

菅原 正直もう少し、欲しいなぁという感じがします。有名な本もありますが足りない部分もあるように感じます。

糸山 専門書だとなかなか全部揃えられないという現実があります。そういう時、他の大学にあれば借りたり、実際見に行くことができればいいんですが、そういうシステムがあることを知っていましたか？

菅原 知りませんでした。

糸山 図書館間の相互利用というものがあります。是非利用すると良いですね。

高橋 卒業研究のためだったんですが「ディズニーランドから学ぶ経済学」という感じの本を読んでいました。似たような内容のものを他にも何冊か読みました。



卒業研究は、何でも良いからアンケート調査などをして、研究をするのですが、私は「なぜ人はディズニーランドに行く幸せになれるのか」というのがおもしろくて、従業員のサーベイスホスピタリティとゲストの満足度に関する調査をしていたので、そのために読みました。

高橋 図書館でも1冊借りましたが、それはとても読みやすく役に立ちました。図書館にあるディスニール関係の本は全部読みましたが、役に立ったのは実際には1～2冊ですね。1冊はアメリカのことが詳しく書いてあったので、ある程度参考にしました。

糸山 自分が調べたい資料は、どうやって調べましたか？直接、書架に行って探しましたか？検索してから探しましたか？

高橋 検索してからです。

糸山 今高橋さんから、卒論のために検索して本を調べたというのがありますが、他にもいらっしゃるんですか？卒論のために読んだのでも、図書館を利用して読んだのでも結構です。

若松さん



若松 今、『注文の多い料理店』を読んでいます。まだ、読み始めたばかりなので、短編みたいなのが沢山入っていて意味が良く分かりません。

糸山 読み始めたきっかけは何ですか？

若松 高校の時に、英語の授業の教科書に載っていたので今度は日本語で読みたいと思って。今、受講している授業の児童文学で『注文の多い料理店』を読むというので、読んでみました。

糸山 大学生という、本を読むだけでも大切というものありますから、とりあえず読んでみるのも一つの方法ですし、自分で本を読むということが大切だと思います。

杉山 私は、若松さんが前期の英米小説の授業で使っていた英語のテキストを借りて読みました。『ノー・モーティブ (No Motive)』と言う題名の本です。私は、最近英語で書かれた小説を読んでいます。内容は英語で理解しているので、日本語で説明はちょっと難しいです。

糸山 私も原書で小説を読む場合は、訳さないで辞書なども引かずに読んでいきます。辞書引いていたら楽しめませんからね。分からないところは飛ばしてしまっただけで筋を読む感じですね。

日本の小説でもそうですね。結果だけ知りたいとか…。ただ気に入ったものは何回も繰り返し読みますね。

杉山さん



杉山 『ノー・モーティブ』は、若松さんから最初に結果がどうなるのかとか聞いてから読みました。私は基本的に本を読むときは、最後から読むんです。例えば、漫画を読むときでも、最後の巻を読んでから1巻から読むんです。

向井 私は、気にはなるんですけど、そこは楽しみにしてとっておくようなタイプです。

最近『窓際のトットちゃん』を読みました。前にも一度、中学か高校生のときに読んで、また最近ちょっと読むかなと思って読みました。前に読んだときは、普通に話の内容を「そうなんだ～」という感じに見ていたんですけど、今は保育者になる立場になって読んでみたら個性を大事にして、先生のほうに興味を示したというか面白いなと思って読みました。

小木曾 私は、実習があったので、最近絵本を読んでいましたが10月のはじめに友達に薦められて、金子みすゞの詩集を借りて読んでました。こんな見方もあるんだって、すごく可愛くなって思いながら読みました。実習前で忙しかったのであまり読めなかったんですけど、時々読みながら「可愛いな。物に対するこんな見方もあるんだな」ってなんか少し変わったような気がしました。

小木曾さん



糸山 良いといわれている本は、ちょっと違うって言うのはありますよね。

友達から紹介されたということだけど、友達とこんな本読んでって言うような話をよくしますか？

小木曾 いいえ。たまたま先生の研究室に行っている時、友達と先生が話していて、私はあまり見たことがなかったので、そこで「貸して」って言って読んでみました。すごく金子みすゞが好きなので持っていたので。

お薦めの本

糸山 是非この本読んで欲しいというおすすめの本、あるいは、繰り返し読んでいる本とかありますか？

高橋 私は桜井亜美さんの本がすごい好きで、幻冬舎から出ているのですが、全部揃えました。本棚の一番手に取りやすいところにおいていつでも読めるようにしています。高校の時に学校の図書室で、桜井さんのデビュー作を見つけて、それを一気に読みましたが、最近は作風が似てるのでちょっと飽きちゃって、新作は読んでいません。一番売れた作品は1年位前ですかね。『Made in Heaven』という作品です。

恋人の話なんですけれども、男性側からの視点、女性側からの視点で2冊出ているんですが、それを私は女性側から借りて読んで、男性側から買って読みました。男性側の方が泣けましたね。

それと、家の近くに図書館があるんですけど、そこで、小学校のときに借りた本を今でもたまに借りています。『魔法少女マリリン』という本と、『はるかな空の東』かな。これらは童話で、村山早紀さんの本で、好きで繰り返し読んでいます。童話なので幼児教育科なんかにも良いんじゃないかなと思います。

糸山 他にそういう本がある人いますか？今まで読んだ中で記憶に残っている本とか。

千葉 『ブルーデブック』っていう詩集みたいのがあって…。落ち込んだときに元気が出るって言う感じで、ちょっと自分で寂しいときとかに読むと、良いと思います。

加藤 「学校の怪談シリーズ」は子供のころ人気ではまりました。短編が一杯詰まっているもので、題名が「理科室の骸骨が動く」とか「誰も居ない放送室から何かが流れてくる」みたいな題名で、短編がたくさん入っていて。

糸山 小学生くらいのときにはまった本は他に何かありますか？

向井 「ねずみくんシリーズ」ですね。『ねずみくんのチヨッキ』とか。「ねずみくん」がすごく好きで、いつも図書館に行って読んでました。この図書館にもあります。

糸山 私も絵本は大人になってから、子供のために読みました。下手な小説よりよっぽど良いのって沢山ありますよね。絵も良いけど、ストーリーも旨いなって感心するの沢山ありますね。

幼児教育をやっている人たちは今でも触れる機会があると思いますけど、他の人はあまりないですよ。

杉山 先日、英語で書かれている1から数字を数えていく子供向けの絵本を読みました。それと、ディズニー系の英語の本で、オーストラリア留学をした子がお土産で買ってきてくれたものを読みました。一つは『アラジン』もう一つは『白雪姫』みたいなものでした。

私は絵がない本はあまり好きじゃないので基本的に小説はあまり読みませんが、英語で書いてあるものは勉強になるかなと思って読んでいます。それは、毎日毎晩読んでいます。

糸山 菅原さん、小・中学校のときに読んで記憶に残る本はありますか？

菅原 『しあわせな王子』がすごい好きで、幼稚園のときに始めて読んでもらったものです。小さい絵本のシリーズで買ってもらって今でも持っています。色々な話の入ったシリーズなので、どんな話だったか「カチカチ山」ってとか思って読み返したりしています。

だけど実際に、子供たちの前で読むかなと思うものは、なるべく面白いものとか、子供たちが集中していられそうなものです。5歳児くらいになればストーリーのしっかりした物語もよいかもかもしれませんが、5歳以下だとやはり「あんぱんまん」とかになりますね。

千葉 先日の実習で1・2歳児クラスが『3匹のヤギのがらがらどん』読んでって言われました。

向井 皆好きですよ。

小木曾 漫画とかでも良いですか？小学生のときにクラスで、『はだしのゲン』がすごい流行って、みんな読んでました。

今読もうと思ってもあまり見たい感じではないですね。ちょっと気持ち悪かったりするじゃないですか。なんでそんなに読んでいたんだろうって思うんですが、読んでいました。

糸山 ちょっと高かったけど、最近買っちゃったって本はありますか？

加藤 『電車男』買いました。“2ちゃんねる”で見れるかなって思ったら見れなくて買うしかないなと思って買って、面白かったです。本読んでから映画見に行ったので分かりやすく良かったです。最初はちょっと読みづらくて、意味が分からないんですけど、途中からこういうシステムで読んでいけばいいんだなって分かったら、読めますね。



加藤さん

菅原 私は、『いま、会いにゆきます』の絵本を買いました。絵本と普通の本ともう一つ何かあるみたいです。

千葉 『はなになりたい』っていうのなんですけど。子ども学部の授業で一番気に入った本を読み聞かせをするというのがあって、友達が読んでいるのを聞いて、泣いたんです。探し回って買いました。今回の実習で子どもたちにも読みました。



向井 最近、『びよちゃんとひまわり』を買いました。ひまわりをひよこが一生涯懸命育てる物語です。最初は種を食べたいと思ったんですが、もっと美味しいのが一杯食べれると思って育てるんです。そのうち、ひまわりに愛情というか友情が沸いてきて、毎日会いに行っていたのだけれど、ひまわりだから時期が来ると枯れてしまって…びよちゃんが泣いてしまって…だけど来年になればもっと沢山ひまわりが咲くよってという物語です。



向井さん

加藤 僕は、動物の“豚”が好きなので、豚が出る物語ばかり買います。

イアン・ファルコナーさんの『OLIVIA』という結構有名な絵本があるんですけど、ストーリーというか絵がすごく好きで、買ってしまいますね。

糸山 みんな、結構本を買うんですね。本の種類は、専門書、一般小説、教養書とかありますが、やはり今自分がやっていることに関係のある本を買うことが多いのでしょうか？

小木曾 私は、学校関係の本ばかり最近買っています。谷川俊太郎さんの絵本についてレポートを書いたんですがそのために絵本を3冊くらい買いました。あとは、授業の中で読み聞かせをするための絵本等です。参考書で障害児教育の本も買いました。

糸山 気になるけどまだ買ってないとか、読んでないとかいう本はありますか？

高橋 今『春の雪』悩んでいます。三島由紀夫のです。映画を見るべきか、本を読むべきか。

加藤 「チャーリーとチョコレート工場」とか。

高橋 先生は「ハリー・ポッター」は、どっちが好きですか？映画と本と。

糸山 「ハリー・ポッター」は本の方が良いと思います。特にこの前やった『アズカバンの囚人』なんかは絶対原作のほうが良いですね。

■ 図書館について ■

糸山 では、図書館についていくつか聞きたいことがありますので、お聞きします。図書館を利用しての感想を聞かせてください。どのようなことでも結構です。

小木曾 よく、レポートとかが出たときに利用するんですが、新しい本がないです。発達とかでも内容が変わっていくのでなるべく新しい本を入れて欲しいと思います。

糸山 これは、色々な分野で言えることですが、古いのが悪いとかでなく、新しく良い本が出てきているのは事実ですね。新しければ新しいほどうまく書いてあるのも事実です。そういう面もありますが、やはり「定番の本」というものがあります。「この分野に関してはこの本」というような感じで、「この本を読んだ上で、次の本」というものがあるのも事実です。古くてもう2度と読まなくて良いという本もありますが、そうではなくて、これはその分野を勉強するのであったら必ず読まなきゃいけない本というのが存在するのも事実です。その辺りのことを担当の先生に教えてもらえれば、「これは古いからだめだ」ということを一概には言えないはずですね。

小木曾 古い本が駄目だとか言うことではなくて、今やっているレポートは何冊も何冊も読んで書くものでもないの…。何冊も読んで書くのでしたら古いものも読んでというのもあると思うのですが、今は1~2冊しか読まないの、そうすると読みやすいものはみな新しいものなので、そういうのに向かってしまいます。

糸山 そうですね。新しい本と言うのは読みやすくなっています。たとえば、英和辞典は新しいほど良いです。読みやすくて見やすくなっています。辞書に関しては新しいに限る感じです。定番の辞書というのも昔ありましたが、もう駄目です。辞書に関しては新しいのを使ってください。本に関しても分かりますね。新しいほど読みやすいのは事実です。

千葉さん



千葉 僕も小木曾さんと同じことを思ったんです。先ほど先生が定番の本があるっておっしゃったんですが今の段階だとその本を読むのが初めての知識になるので、それが今の時代に正しいことなのか、もう新しくなって違う考えがあるのという区別がつかないので、それで新しい本のほうが良いなって思うんです。

糸山 もし、レポートなどで迷うのであれば、先生に相談するほうが良いかも知れませんね。先生方も新しい本すべてに目を通しているわけではないと思いますが。でも、新しい本の中でも「これは！」という本はすぐ分かると思います。専門家ですからね。「これは良くかけているな」とわかります。相談したほうが手取り早いんですね。悩んだときは、先生に聞くことですね。菅原さんどうですか？

菅原 特にありませんが、専攻科に入ってから図書館をよく利用するようになったんです。「どうしてかな？」って考えたんですが、図書館が一番集中できる場所なんです。家よりも。夏休みとか、春休みとか結構来たりしてました。いつも綺

麗ですし、たまにうるさい時はありますけど静かですし、集中できて良い場所だと思ってます。

糸山 そういってもらえると嬉しいですね。菅原さんは、非常に理想的な使い方をしてますね。ただ、うるさい時は注意してください。自分では言えない時は、図書館員に言ってもらえばよいので。

菅原さん



菅原 でも、自分も短大生のときはうるさかったの…。

糸山 高橋さんはどうですか？

高橋 私は1年生のときは空き時間があったので、図書館でネットしたり本読んだり勉強したりしてました。この図書館は広くて2階もあるし、勉強するにはいい空間だなと思います。

ただ、2点気になります。貸出期間ですが、普通の本だったら2週間は普通に読めるくらいなんですが、資料として借り出す場合は、2週間だと短いと思うことがありますね。そういう時は、3週間なり1ヶ月なり借りれる期間を設けられたらいいなと思います。あと一つ、広いスペースが一杯ある割に、書棚がスカスカかかって感じます。私は書棚のスカスカが結構気になっていて、もっとぎっしり入っていたほうが図書館らしいと思います。

私たちの学科の子がここを使おうとすると、あまり資料がなかったりしますね。私は多重人格について調べる時に、あるにはあるのですが、求めているものが違ったり、ちょっと古めだったりしたために他の大学の友人に頼んで借りたりしました。

心理学系も、高齢者とか幼児系はあるんですけど、普通の一般的なのが少ないです。

もう少し、私たちビジネス心理科の学生も使いやすいものがあるといいと思います。

糸山 短大は40周年ですが、ビジネス心理科は今年で5周年ということで、まだ歴史が短いのでその手の本が少ないというのはあると思いますので、そういう意見は、是非学科の先生に言ってください。あるいは、図書館に直接言ってもらってもいいと思います。ビジネス心理科の学生が求めているような心理学の分野ものが不足しているのは事実だと思います。

高橋 ビジネス心理科の子があまり図書館を利用していないのも事実ですね。みんなそこまで勉強してないと思うので。だから、勉強する子ももっと沢山いればきっとそういう声も増えてくるし、そうなるんだと思います。

加藤 幼児教育科があるので幼児教育系の調べものは沢山あっていいと思うんです。けど友達が薦めてくれた小説家で新堂冬樹さんという人を、是非読んでみたいと思って検索したら、全然なくて…。小説系をもう少し置いてくれたらいいかなと思います。

糸山 その辺りは、我々のほうでも考えていますが、大学と言う教育機関の図書館であり、普通の公立の図書館ではないので選書にも気をつけています。

向井 図書館は、グループ活動をする時に2階のグループ学習室を使ったりしています。綺麗だし広いし、授業の合間とかにふっと来たいなと思える図書館だと思います。



杉山 私は、本に対してとかは一杯あるからいいと思いますが、一年生のときに1~2回くらい、本当に数えるくらいしか利用したことないです。

理由は、働いている人の態度が好きじゃないからですね。すごいみんな態度が冷たいので。こっちは高い授業料払っているのに、なんでああいう態度なんだろうと思います。先生は分からないときは、図書館員にやってもらってもいいんだよって言いますが、聞いても図書館員の態度がすごく嫌なので、聞く気にもならなくて、1年のときは図書館が嫌で本当に利用しませんでした。

でも2年生になって、高い授業料を払っているのだから、利用しないと勿体無いてって思って、親にも言われて、利用するようにしています。

若松 プリントアウト料金を無料にして欲しいです。学内には、無料でプリントアウトできるところもあるので図書館だけ有料なのは、変だと思います。

糸山 次に、図書館の開館時間について聞きますね。

小木曾 早くて遅くがいいです。9時開館だと授業が始まる時間なので、授業が始まる前に返したいとかの時に入れないのでもう少し早く開館して欲しいと思います。それと夜はもっと遅くまで開けて欲しいです。授業が18時までの日もあるのでその後に、というに入ってちょっとしたらすぐ終わりなので。

もう少し遅いともっと色々できるかなと思います。特に、試験前とか、レポート課題が出ているときなどです。いつも、遅くなっちゃって「すみません」とか言って帰っていくんですが…。

糸山 のってる時などは帰りたくないってありますよね。検討する必要がありますね。

最後に…

糸山 では、最後に小野澤先生からお願いします。

小野澤 色々皆さんにお話していただいたんですが、読む読まないは別として、大切にしている又は大切にしたいと言う本があったら紹介してください。

小木曾 今は、絵本とかを買って見るんですが、一生持ち続けるだろうなって思いますし、大切にしようなと思います。

千葉 『はなになりたい』とか『ブルーディブック』、『葉っぱのフレディ』とかですね。

菅原 私は繰り返し読む『しあわせな王子』とか『いま、会いにゆきます』が好きなのでその関係の本とか、金城一紀さんの本が好きなのでその人の本を大切にしたいなと思っています。

高橋 「あの人からもらった言葉」という感じの本です。人からかけられた言葉を募集して一冊にまとめた感じの本です。

『私たちの名言集』っていうのが一時期はやって、歌とか映画とかのがあって、今度は自分が言われて嬉しかった言葉を集めたのです。

落ち込んだときに読んで、勇気付けられたりしました。

糸山 私はヘルマン・ヘッセの詩集とか大学時代に繰り返し読みました。慰められる感じですね。

加藤 「OLIVIA」の本と、さくらももこさんのエッセイ集がそうですね。

本当に、なんでこんなことを話題にするんだろう？というようなことが書いてあって、暗いときに読んでいると笑えるし、大切にしたいと思います。

向井 『ジム・ボタンの機関車大旅行』という、ハリー・ポッターみたいな感じの本があるんですけど、それを小学校4年生のときに担任の先生が毎朝読んでくれていて、好きになって、家でも読んで貰ったりした思い出深い本なので大事にしたいと思います。

杉山 初めて本をちゃんと読もうと思ったのは、中学校3年生の時で、すごくへこんだ時期があって、学校にも行きたくないし、何にもしたくない時期で、その時に先生に薦められて読んだのが、『だからあなたも生きぬいて』という本で、その本を読んですごく感動して、自分がすごく小さく思えて…。それから考え方もすごく変わった本です。それは先生にも借りましたが、自分でも買いました。文庫本もハードカバーも買いました。それが一番大事な本です。

若松 私は、『150cmライフ』という本で、背の小さな作者の書いた日常の生活の本です。私も身長が150cmなのですごい共感できたので。

糸山 本当にそういう本があるのはいいですね。色々な意味で幸せですね。元気を取り戻せるような本があるのはいいですね。

小野澤先生



小野澤 私は繰り返し読むというわけではないのですが、私の大学の先輩で、星野富弘さんという方がいます。彼は詩集を沢山出しているのを知っている人も多いのではないかと思います。

教師時代に鉄棒から落ちて首から下の自由が全くきかない状態になってしまったのですが、けがの快復とともに口に筆を咥えて、絵を描くことと、詩を書くことに挑戦しました。周りの人に支えられて、沢山の人に絵と詩を鑑賞してもらえるようになったんですが、何かあると時々その詩集を読むというのじゃないですが、パラパラとめくって見て、杉山さんが言われたように、へこんでいる時は、彼の描いた絵とか詩を見ると勇気付けられることがあります。

そんな本の利用の仕方もあっていいのかなと思います。

本の利用の仕方は色々あると思うんですね。図書館でも皆さんからの意見や要望に応えられるよう我々ががんばって行きたいと思います。

糸山 今日はあつという間に2時間たってしまいました。これを機会に、図書館を利用してもらえたらと思います。皆さん2年生ですけど、卒業してからも図書館は利用できますからね。今日は本当にありがとうございました。

座談会で話題にあがった「本」と「著者」から、図書館で所蔵しているものをリストアップしました。興味の沸いたものがありましたら、是非手にとって見てください。所在は、OPAC(蔵書検索システム)を使うとすぐに分かります。分からない場合は、レファレンスコーナーにご相談ください。



<本> (ジャンル別)

●絵本

『OLIVIA』(訳本) / Ian Falconer 著 / あすなろ書房
 『三匹のヤギのがらがらどん』 / 瀬田貞二 訳 / 福音館書店
 『デコちゃん』 / つのだふこ さく・え / PHP研究所
 『ねずみくんシリーズ / なかえよしを 作 / ポプラ社
 『はなになりたい』 / すまいるママ 著 / ソニーマガジンズ
 『ぴよちゃんとひまわり』 / いりやまさとし 作 / 学習研究社

●童話

『しあわせな王子』(世界名作ファンタジー) / ポプラ社
 『しあわせな王子』(こどものための世界童話の森)
 / Oscar Wilde 作 / 集英社
 『ジム・ボタンの機関車大旅行』(エンデ全集1)
 / Michael Ende 著 / 岩波書店
 『注文の多い料理店: イーハトーブ童話集』
 (岩波少年文庫10) / 宮沢賢治 著 / 岩波書店
 『はるかな空の東』 / 村山早紀 著 / 小峰書店

●小説

『いま、会いにゆきます』 / 市川拓司 著 / 小学館
 『世界の中心で、愛を叫ぶ』 / 片山恭一 著 / 小学館
 『チョコレート工場の秘密』(ロルト・ダール・コレクション)
 / Roald Dahl 著 / 評論社
 『電車男』 / 中野独人 著 / 新潮社
 『ナイフ』 / 重松清 著 / 新潮社
 『葉っぱのフレディ: いのちの旅』
 / Leo F. Buscaglia 著 / 童話屋
 ハリー・ポッター シリーズ / J. K. Rowling 作 / 静山社
 『春の雪』(三島由紀夫全集8) / 三島由紀夫 著 / 新潮社
 『Made in Heaven: Kazemichi, Juri』
 / 桜井亜美 著 / 幻冬舎
 『ロード・オブ・ザ・リング』
 / J. R. R. Tolkien 著 / 評論社

●エッセイ

『だから、あなたも行きぬいて』 / 大平光代 著 / 講談社

『150cmライフ。』『150cmライフ。2』
 / たかぎなおこ 著 / メディアファクトリー
 『窓際のトットちゃん』 / 黒柳徹子 著 / 講談社

●その他

『学校の怪談』1~9 (講談社KK文庫)
 / 常光徹 他 著 / 講談社
 『子どもによる子どものための「子どもの権利条約」』
 / 小口尚子, 福岡鮎美 著 / 小学館
 『ディズニーリゾートの経済学』
 / 粟田房穂 著 / 東洋経済新報社
 『はだしのゲン』 / 中沢啓治 著 / 汐文社
 『ブルー・デイ・ブック: 誰でも落ち込む日がある』
 / Bradley Trevor Greive 著 / 竹書房
 『ヘッセ詩集』(世界詩人全集14)
 / Hermann Hesse 著 / 新潮社

<著者>

金子みすゞ

『明るいほうへ』『わたしと小鳥とすずと』
 (金子みすゞ童謡集) / JULIA出版 他

金城一紀

『GO』 / 講談社
 『レヴオリューションNo. 3』 / 角川書店

さくらももこ

『あこがれの魔法使い』 / 新潮社
 『さるのこしかけ』 / 集英社 他

新堂冬樹

『誰よりもつよく抱きしめて』 / 光文社

星野富弘

『かぎりなくやさしい花々』 / 偕成社
 『鈴の鳴る道: 花の詩画集』 / 偕成社 他

座談会メンバー (図書館1階図書館長室にて)



座談会にご協力くださいました、学生のみなさん・先生ありがとうございました。



『電池が切れるまで：子ども病院からのメッセージ』

すずらんの会編 / 角川書店

(1階書架 916/Suz)



人の出会いとは不思議なものである。3年前ある男性と知り合った。彼と話をするうちに大変な事実を知ることとなった。彼は小学生の頃、大変な病気を患い生死をかけて闘病生活を送った経験の持ち主であった。その彼からある書物の紹介を受けた。『電池が切れるまで』。長野県にある県立子ども病院で病気と闘いながら院内学級で学ぶ子どもたちの生活の様子を綴ったものである。後にテレビドラマとして紹介されたのでご存じの方も多と思う。私は小説などの類を読むことは余りないが、この本は手にした日に最後のページまで読んでしまった。闘病生活をする子どもたちが書いた詩や作文を綴ったものであるが、書いた子どもたちは、学生諸君とほぼ同年齢の子もたちである。一読した後、彼からレクチャーを受け、書物に記載されていない様々なエピソードを聞

くことが出来たが、収録されている詩や作文は一編一編が力強く「生きる」と言うことを考えさせられる非常に考え深い内容である。幼児教育科や子ども学部の学生にとっては必読の一冊であろうし、他科の学生にも是非一読をお勧めする。人生観が変わると思う。それほど強烈な印象を与えてくれる書籍であり、読めば読むほど手放せなくなる一冊である。

本書の中に書名のタイトルとなった「命」と言う次のような一編の詩が収録されている。由貴奈さんは11歳という若さで、自らの命の電池が切れ、この世を去りました。

(幼児教育科 教授 小野澤昇)

「命」
宮越由貴奈

命はとても大切な
人間が生きていくための電池みたい
だ
でも電池はいつか切れる
命もいつかはなくなる
電池はすぐにとりかえられるけど
命はそう簡単にはとりかえられない
何年も何年も
月日がたつてやっと
神様からあたえられるものだ
命がないと人間は生きられない
でも
「命なんかいらない。」
と言って
命をむだにする人もいる
まだたくさん命がつかえるのに
そんな人を見ると悲しくなる
命は休むことなく働いているのに
だから 私は命が疲れたと言うまで
せいっぱい生きよう

新着図書紹介

『クリスマスの文化史』若林ひとみ 著/白水社

サンタクロースって誰なの？クリスマスツリーはなぜ飾るようになったの？多数の図版とともにその由来を説き明かし本場ドイツのクリスマスを紹介します。

『「仕事の基本」が身につく本：3日で読める！一生役立つ！』

古谷治子 著/かんき出版

これから社会人としてスタートする人に！ビジネスパーソンに必要な仕事の基本がすべて理解できる構成になっています。

『柳生薔薇剣』荒山徹 著/朝日新聞社

柳生新陰流と朝鮮妖術師の対決、三大将軍家光の密やかな恋、朝鮮出兵に隠された真実など、時代小説の面白さ満載の破天荒な力作伝奇長篇。

『中国「世界遺産」の旅』全4巻 平山郁夫他 監修/講談社

中国の世界遺産はじめての集大成！！周辺情報も満載！

『きみが微笑む時』長倉洋海 著/福音館書店

南アフリカ、コソボ、ポリビア、フィリピン・・・1982年から2004年まで、紛争地を中心に世界を駆けめぐり中で出会った、たくさんの印象的な笑顔。世界の明日をひらく微笑みの花束に力作エッセイをそえた、フルカラーの写真集。

『朝日現代用語 知恵蔵2006』朝日新聞社

『imidas2006』集英社

『現代用語の基礎知識2006』自由国民社

基礎用語から比較的新しい用語、専門用語を収録。時代を反映する事柄・言葉などを調べるのに最適な3冊。



図書館では利用者の皆さんからの資料のリクエストを受付けています。詳しくは、図書館1階レファレンスコーナーまで…

図書館からのお知らせ

展示のお知らせ

12月22日(木)まで、図書館1階展示コーナーにて、クリスマスの展示を行っています。クリスマスについての本や解説、沢山のクリスマスの絵本、かわいいクリスマスカードが展示されています。絵本は気に入ったものがあれば借りることができます。

夕方になるとクリスマスツリーに明かりが灯り、とても綺麗です。是非、見に来てください。



4月～11月までの貸出ベスト3

総合

- 1 High and dry はつ恋 (よしもとばな著)
- 2 13ヶ月と13週と13日と満月の夜 (Alex Slearer著)
- 3 いま、会いにゆきます (市川拓司著)

貸出回数の多いベスト3です。

科別の貸出は科の特色が良く出ているのではないのでしょうか？全科共通して貸出の多いものはやはり小説系です。新しい本が毎日入ってきています。新着コーナーなどチェックして、良い本を探してください。

言コミ科

- 1 英検準2級教本
- 2 間宮兄弟 (江國香織著)
- 3 東北 (アイじゃぱん4)

幼児教育科

- 1 手づくりおもちゃを100倍楽しむ本 (木村研編著)
- 2 13ヶ月と13週と13日と満月の夜 (Alex Slearer著)
- 3 5歳児の保育資料12ヶ月 (阿部恵編著)

ビジネス心理科

- 1 人間と社会のつながりをとらえる「対人関係・価値観」 (吉田富士雄編)
- 2 High and Dry はつ恋 (よしもとばな著)
- 3 きょうだい研究 (依田明著)

子ども学科

- 1 実習日誌の書き方 (中田カヨコ他著)
- 2 狼に育てられた子 (J. A. L. Singh著)
- 3 たくさんのおはなし (ひろかわさえこ作)

2006年1月～3月の図書館利用について

開館は9:00です。カレンダーの日にちの下が閉館時間です。

授業が終了すると、開館日が変則的になりますので、必ず開館スケジュールを確認して来館してください。開館スケジュールは、掲示板・ホームページで確認できます。4月からのスケジュールは3月になりましたら、掲示板またはホームページでお知らせします。

本の貸出は、今年度は3月10日で終了です。

1 月						
月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10 19:00	11 19:00	12 19:00	13 19:00	14 14:00	15
16 19:00	17 19:00	18 19:00	19 19:00	20 19:00	21 14:00	22
23 19:00	24 19:00	25 19:00	26 19:00	27 19:00	28 14:00	29
30	31					

2 月						
月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6 17:00	7 17:00	8 17:00	9 17:00	10 17:00	11	12
13 17:00	14 17:00	15 17:00	16 17:00	17 17:00	18	19
20 17:00	21 17:00	22 17:00	23 17:00	24 17:00	25	26
27 17:00	28 17:00					

3 月						
月	火	水	木	金	土	日
		1 17:00	2 17:00	3 17:00	4	5
6 17:00	7 17:00	8 17:00	9 17:00	10 17:00	11	12
13	14 ←	蔵書点検期間			17 →	19
20	21 ←	蔵書点検期間			25 →	26
27 ←	28	29	30	31 →		



お願い

最近、本の返却期限を守らない方が増えています。他の方に迷惑がかからないように、必ず期限内に返却してください。延長をしたい場合は、本を持って返却期日までに貸出・返却コーナーへ来てください。

